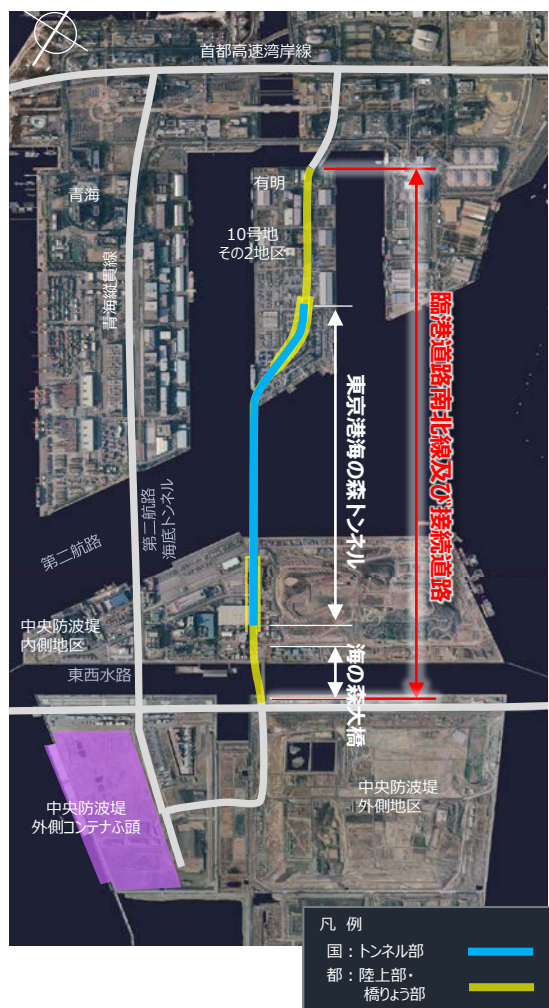


臨港道路南北線及び接続道路事業の概要

- 東京港では、コンテナ貨物取扱量の増加に対応するため、中央防波堤外側地区に新たなコンテナターミナルの整備を進めています。
- 首都高速中央環状線や東京港トンネルといった周辺道路の整備によって、首都圏からのアクセスが改善される一方、有明・青海～中央防波堤地区を結ぶアクセスは青海縦貫線（第二航路海底トンネル）のみとなっています。
- 本事業は、中央防波堤地区の新しいコンテナふ頭の貨物需要に適切に対応し、東京港全体の物流機能を強化するため、新たな南北軸となる臨港道路南北線及び接続道路を整備するものです。
- 本事業の概要
 - 開通区間：10号地その2地区（江東区有明四丁目）
～中央防波堤外側地区（同区海の森三丁目地先）
 - 延長：約3.7km
 - 車線数：往復4～6車線
 - 事業期間：平成26年度～令和2年度

○位置図



○海の森大橋

(令和元年12月13日名称決定)



○東京港海の森トンネル

(令和元年12月13日名称決定)

